

【授業の概要】

生物学とは生物を対象にして研究する学問であり、現象や研究手段により、分類学・形態学（解剖学）・発生学・生理学・生化学・生態学・遺伝学・生物地理学などに分けられる。講義では生物学の内容を俯瞰させ、概要を理解させたうえで、幼児教育者の専門家を養成するという具体的な目標の下に、基礎教育科目の「生物学」と専門教育科目の領域「環境」がそれぞれ密接なつながりを持つことを考慮しながら、学生にとって満足度向上につながるような内容にし、目標とする学習成果を実現する。

【授業要旨】

回数	題目	授業内容 (留意点、テスト、レポート、作業、参考文献、教材等)
1	オリエンテーション なぜ「生物」を学ぶのか	生物学の内容の俯瞰、具体的な目標の設定
2	生物学と生命の探究 (生命とは)	①生物学とは ②生命とは ③生命体のもつ一様性（共通性・普遍性） ④生命体の示す多様性（個別性・特殊性） ⑤科学とは
3	人間の生活と生物 (人間と生き物との関係)	①季節と生活（自然の中で） ②衣服と住居（生きものに包まれて） ③食生活（ヒトが食べる生き物） ④生物の利用・改良（ヒトを豊かにする生き物） ⑤衛生昆虫・病原体（ヒトを困らせる生き物）
4		
5	分類学 (生物の系統と分類)	①いろいろな界の分類 ②系統樹とは ③大分類 ④動物の分類 ⑤植物の分類
6		
7	形態学 (生き物の形) (人間の体のつくりと機能)	①動物と植物の違い ②動物の形態 ③植物の形態 ④生物のオスとメス ⑤生物界の多型現象
8		
9		
10	①骨格 ②頭蓋 ③頭蓋泉門 ④解剖学用語と人体の部位	
11	生態学 (生物と環境) (動物の行動)	①生物と環境 ②作用・反作用・相互作用 ③生態系の構成要素・食物連鎖・食物網 ④生物の地理的分布
12		
13		①本能行動 ②経験にもとづく行動
14	幼児と生きもの (幼児教育と生物学の接点)	①子どもと自然 ②子どもの五感 ③子どもの園内活動と園外活動 ④季節の変化と子どもの活動 ⑤子どもと動・植物（草花遊び・虫遊び） ⑥保育者を目指す学生が必要とする植物の基礎知識 ⑦保育者を目指す学生が必要とする動物の基礎知識
15		

【評価の方法】筆記試験、授業の小課題、出席状況、受講態度等を考慮して評価する

【テキスト】適宜プリントを配布